

# 産業建設 分科会(予算決算常任委員会) 常任委員会

【9月会議】

委員会付託 ・ 議案 4 件  
分科会分担 ・ 議案 2 件

産業建設常任委員会に付託を受けた議案および予算決算常任委員会産業建設分科会に分担された議案について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

- ◆ 委員長 / 木下敬夫
- ◆ 副委員長 / 徳田正則
- ◆ 委員 / 高橋正浩、佐藤喜典、垣内武司、今田勇雄



貨物運送事業 (イメージ)

## 主な審議内容

【議案第10号】

9月会議

令和4年度七尾市一般会計補正予算(第4号)

◆ 中小企業振興対策事業費について

- ⓐ キャッシュレス決済ポイント還元事業について、どれくらいの効果が出たのか。
- ⓑ ポイントの還元が仮に2億円とすると、還元率が20%なので、消費は10億円、還元されたものが後に消費されると12億円の効果となる。今回の1億円の増額補正により、18億円の経済効果となる。

◆ 貨物運送事業継続支援金事業費について

- ⓐ 事業復活支援金と事業再生支援金の対象となった事業者は対象外であるとのことだが、不公平感はないのか。
- ⓑ それぞれの支援金事業の対象となっている企業の規模により異なり、不公平感はない。
- ⓒ コロナ禍による減収と燃料高騰によるダメージはタイミングのずれがあったと思われる。減収による支援金の対象となった企業への燃料高騰によるダメージに対する次の支援策をご準備いただきたい。
- ⓓ 商工運輸だけでなく、他の分野においても燃料高騰のダメージが考えられ、全庁的に事業の取組みを考えていかななくてはならないと思っており、意識して努めたい。

【議案第33号】

9月会議

令和4年度七尾市一般会計補正予算(第5号)

◆ 世界農業遺産「能登の里山里海」活用推進事業費について

- ⓐ トキが生息可能な環境整備モデル地区4地区に対する補助であるが、対象となる面積、取組みの継続期間はどれくらいか。また、選定された4地区全てを継続して補助していくのか。
- ⓑ 対象となる面積について、石川県の想定は集落単位としており、七尾市では町会もしくは生産組合単位の規模を想定している。選定するモデル地区は、令和8年の放鳥までに機運の醸成を図るためのスタートでもある。ゴールは、放鳥した後、定着を目指すものであり、長期的計画である。次のステップもあるということをご理解願いたい。



トキが舞う里山 (イメージ)

## 令和3年度 決算審査 各分科会 (予算決算常任委員会)

令和2年度から、これまで決算審査特別委員会を設置して審査していたものから、予算審査を行った各予算決算常任委員会分科会で決算審査を行っております。

各分科会にて、令和3年度決算について審査した結果、主に下記内容が議論されました。

総務企画分科会  
分担 ・ 議案 1 件

教育民生分科会  
分担 ・ 議案 3 件

産業建設分科会  
分担 ・ 議案 5 件

## 主な審議内容

【議案第26号】

令和3年度七尾市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

◆ デジタル人材育成の研修について 【総務企画】

- ⓐ 研修項目も増えており、どんどん研修を進めているのかなと思うが、デジタル人材育成の研修については、秘書人事課のほうで特に設けていないのか。
- ⓑ デジタル人材育成についても順次研修に加えていく。

◆ 特別支援教育支援員配置事業費について 【教育民生】

- ⓐ 小学校の特別支援学級数は25学級で支援員は22名、中学校は8学級で支援員が6名であるが、各学級に支援員が配置されているわけではないのか。
- ⓑ 中学校の支援員は6名で、支援を要する生徒は8名であり、支援員の数は十分である。小学校については、支援を要する児童が多いため、配置が22名となっている。掛け持ちしている学級もある。

【議案第26号】

令和3年度七尾市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について

◆ 鳥獣被害対策事業費について 【産業建設】

- ⓐ カラスの駆除について、小丸山城址公園下のフン害がひどい。観光にも影響が出ると思われるが、対策はどうか。
- ⓑ 捕獲を行うが、駆除については、場所や時間等の定めがあり、追い払いも含めて課題である。七尾鹿島鳥獣被害対策協議会とも連携をとり、解決に努めたい。

◆ 森林整備保全事業費について 【産業建設】

- ⓐ 竹が生い茂ることにより山が荒れている。森林環境譲与税を活用し、伐採後の竹の処理機械の貸与事業はできないのか。また、森林整備地域活動支援交付金を活用できないのか。
- ⓑ 他市の状況を含め調査・研究する。竹の伐採については地権者の同意を得たうえで、環境林整備推進費で石川県が伐採を行っている。